

## 出演者プロフィール

### MUZIC@NET / マリオネット



日本におけるポルトガルギターのパイオニア・湯浅隆と、マンドリン界をリードする吉田剛士によるアコースティックユニット。ポルトガルギター、マンドリュート、ギター、マンドリンを駆使し、オリジナル楽曲を中心に、ファドやポピュラーも含め幅広く活動。その唯一無二のサウンドは、初めて聴くのに懐かしい架空の国の民族音楽とも称され、ポルトガル大使よりは「ポルトガルと日本の音楽の最高フュージョン」との評を賜る。結成以来、映画、TV番組テーマ曲、TVCM、バレエ・演劇などの音楽を数多く担当。また、俳優・常田富士男、高倉健、女優・日色ともゑ、竹下景子を始め、パントマイム・清水きよし、歌手・リリィ、石川さゆり、渡辺真知子、グラシェラ・スサーナ、長谷川きよし、中国古箏・伍芳との共演など、様々な分野とジョイント。95年のデビューCD『ぽるとがる幻想』は異例の4万枚のヒット。以降、計15枚のアルバムを発表。楽曲は様々なBGMとして使われている。2013年、日本ファド史である2枚組CD『Zipangu Fado』をプロデュース。多数のテレビ・ラジオにも出演（『徹子の部屋』『スタジオパークからこんにちは』など）各地ライブ活動の他、NHK名曲アルバム演奏、豪華客船「飛鳥II」ワールドクルーズでのエンタなども。1998年、リスボン国際博覧会 EXPO'98 ジャパンデー日本代表で出演。又、「Festival de Guitarra Portuguesa na Expo'98」に日本人では唯一招待。2013年、『第6回石見銀山文化賞・特別賞』受賞。日ポ友好470周年記念コンサート「The Way of Namban／南蛮ぎたるらの世界」をリスボンで開催。堺市よりの依頼で『南蛮 Sacay』を作曲。2014～2017年、大分むぎ焼酎「二階堂」のTVCM全国放送。2015年、ポルトガル大使館より日ポ両国の文化面での関係発展への貢献が認められ『ジョアナ・アブランシェス・ピント賞』を受賞。2016年、高知県梶原町より『ゆすはら未来大使』に任命。2017年、大分日本ポルトガル協会設立40周年記念曲（杉村忠彦会長より依頼）『南蛮 BVNGO』を作曲、同曲は大分市公式動画サイト『いいやん！大分』で公開中。2018年、アサヒ飲料炭酸水「ウィルキンソン」のWebCMに『いつものBarで逢いましょう／湯浅隆・作詞作曲』（歌／長谷川きよし、ベース／

ロン・カーター) 2019 年、人形劇団ブーク 90 周年記念作品「オッペルと象」音楽担当。2020 年、大分市医師会立アルメイダ病院 50 周年記念曲『アルメイダの聖鐘』『南蛮天使アルメイダ』作曲。熊本県天草市文化課世界遺産・文化財係よりの依頼で「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界遺産登録一周年記念曲『南蛮 AMACUSA』作曲。2021 年、劇団民藝「泰山木の木の下で」(主演/日色ともゑ)に「ギターを弾く男」で出演。現在、大分銘菓「ざびえる」の TVCM「南蛮舞曲」が大分で放映中。2022 年 7 月、青弓社より吉田剛士がマンダリンの総合ガイドブック「まるとマンダリン」出版予定。